

CASIO®

3163*JA

P

取扱説明書

3163

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取
扱いただきますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に
記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

| | |
|-------------------|----|
| 表示照明用ライト点灯 | 10 |
| 時刻・カレンダーの修正 | 14 |
| カスタムメモ機能 | 17 |
| ワールドタイム | 19 |
| タイマー | 21 |
| ストップウォッチ | 25 |
| アラーム・時報 | 26 |

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。



注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③ 体調不良等
- ・ バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - ・ 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - ・ 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控えを作ってください

記憶させた内容は、ノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。

本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。





注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計脱着の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのおやめください。交通事故の原因となることがあります。

目次

| | | | |
|------------------------|-------------|------------------------------------|-----------|
| <u>安全上のご注意</u> | <u>表紙裏面</u> | <u>電子音の報音に合わせてLEDライトを点滅させる</u> | <u>12</u> |
| | | ON / OFF 設定 | 12 |
| <u>液晶表示について</u> | <u>6</u> | <u>表示のコントラスト調整について</u> | <u>13</u> |
| <u>操作音について</u> | <u>6</u> | <u>時刻・カレンダーの合わせ方</u> | <u>14</u> |
| 操作音の ON / OFF 設定 | 6 | 時刻・カレンダーの合わせ方 (ホームタイムの設定) | 14 |
| <u>デモ表示について</u> | <u>7</u> | <u>カスタムメモ機能の使い方</u> | <u>17</u> |
| | | メモを入力する | 17 |
| <u>操作のしくみと表示の見方</u> | <u>8</u> | <u>ワールドタイムの使い方</u> | <u>19</u> |
| | | 都市のサーチ | 19 |
| <u>表示照明用ライト点灯について</u> | <u>10</u> | サマータイム (DST) について | 19 |
| ボタンを押して点灯させる | 10 | サマータイムの設定 | 19 |
| 時計を傾けて点灯させる | 10 | 都市コード一覧 | 20 |

タイマーの使い方 **21**

| | |
|--------------------------|----|
| タイマー方法について | 21 |
| タイマーの時間について | 21 |
| 電子音の報音について | 21 |
| タイマーのセット | 22 |
| タイマーの使い方（減算計測のしかた） | 24 |

ストップウォッチの使い方 **25**

| | |
|--------------|----|
| 計測のしかた | 25 |
|--------------|----|

アラームの使い方 **26**

| | |
|--|----|
| アラームについて | 26 |
| アラーム時刻のセット | 26 |
| アラームの ON / OFF 設定 | 28 |
| 鳴っている電子音を止めるには | 28 |
| 電子音を試聴する | 28 |
| 時報について | 28 |
| 時報を鳴らす「時間帯」と 「日（毎日／週末／平日）」の設定 | 29 |
| 時報の ON / OFF 設定 | 30 |

| | |
|----------------|----|
| 製品仕様 | 31 |
| ご使用上の注意 | 38 |
| お手入れについて | 41 |
| 電池交換について | 42 |

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。なお、本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、本書に記載しているイラストの黒い部分（「時刻」、「機能がONになっているときに点灯するインジケーターマーク」など）が、「白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。

※液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

<Aタイプ>



<Bタイプ>



操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音のON/OFFを切り替えることができます。

■ 操作音の ON / OFF 設定

「セット中（表示点滅）」や「アラームなどの電子音が鳴っているとき」以外の、どのモードのときでも

◎ ボタンを約3秒間押し続けます

→ 確認音が鳴り、操作音のON/OFFが切り替わります。

※操作音をOFFにしているときは、MUTEマークが点灯します。また、モード切替え時には、LEDライトが点滅します。

※◎ボタンを押したときに、モードも切り替わりますので、ご注意ください。

※操作音がOFFでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。



MUTEマーク

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。
デモ表示では 10 秒ごとに表示タイプが切り替わります。
※デモ表示中はオートライト機能以外の操作はできません。



●デモ表示の解除

(A) ボタンまたは (C) ボタンを押します。

●デモ表示の設定

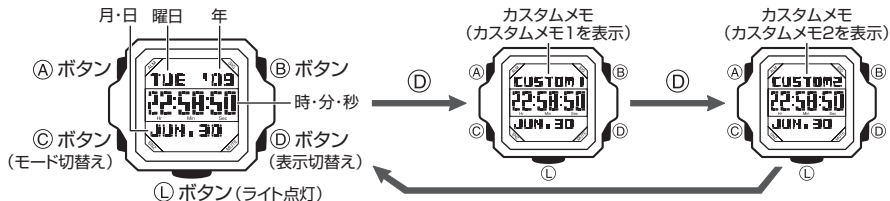
時刻モードのとき、(B) ボタンと (D) ボタンを同時に約 2 秒間押し続けます。

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

※アラームモードで2～3分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードになります。

時刻モード



- 上段と下段は、文字が長いときは自動的に右から左へ流れて表示されます。
- 時刻モードのときに、上段と下段の曜日・年・月・日の表示方法は4種類から選択できます。
- 時刻モードのときに② ボタンを押すと、下段の表示によって上段のカレンダー表示は次のように切り替わります。
例 2009年6月30日火曜日

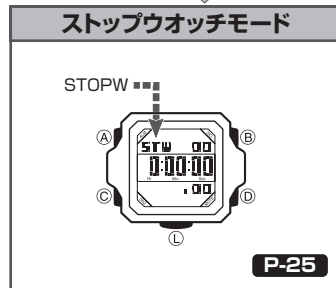
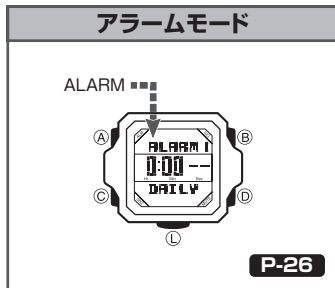
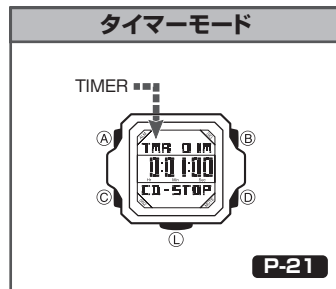
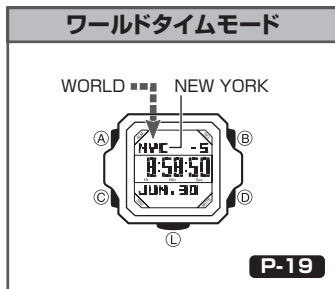
| 下段の表示 | ② ボタンを押したときの、上段のカレンダー表示の切り替わり |
|--|---|
| MMM. DD (例 JUN.30) DD. MMM (例 30.JUN) MM-DD (例 06-30) DD-MM (例 30-06) | DDD 'YY (例 TUE '09)、'YY DDD (例 '09 TUE)、 DDD (例 TUE)、YYYY (例 2009) |
| DDD DD (例 TUE 30) DD DDD (例 30 TUE) | MMM 'YY (例 JUN '09)、'YY MMM (例 '09 JUN)、 MMM (例 JUN)、YYYY (例 2009) |

表示切替えについて

時刻モードのとき、④ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

● 曜日の見方

SUN:日 MON:月 TUE:火
WED:水 THU:木 FRI:金
SAT:土



※ “TIME” が表示されてから時刻モードに切り替わります。

表示照明用ライト点灯について

暗い場所で表示を見たいときは、ボタンを押して表示照明用ライトを点灯させることができます。また、時計を傾けると表示照明用ライトが点灯するオートライト機能もあります。

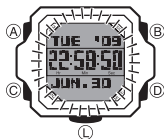
本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■ ボタンを押して点灯させる ～手動点灯～

どのモードのときでも

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すと、約1.5秒間、表示照明用ライトが点灯します。



※ オートライトOFFのときも①ボタンを押すと点灯します。

■ 時計を傾けて点灯させる ～オートライト機能～

ボタンを押さなくても時計を傾けるだけで表示照明用ライトが点灯する機能です。

● オートライトのON / OFF 設定

時刻モードのとき、① ボタンを約3秒間押し続けて、オートライトON（オートライトONマーク点灯）にします。

オートライトONマーク



※ オートライトONのとき、時刻モードで① ボタンを約3秒間押し続けるとオートライトOFF（オートライトONマーク消灯）に戻ります。

●表示照明用ライトを点灯させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を「**手首の外側**」にくるようにつけてください。

※文字板の左右(3時-9時方向)の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。



〈表示照明用ライトご使用時の注意〉

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトが作動するのは、オートライトONにしてから約6時間です。それ以降は電池消費防止のため、自動的にオートライトOFFになります。
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度時刻モードで①ボタンを約3秒間押し続けてオートライトONマークを点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、表示照明用ライトの点灯が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- 表示照明用ライト点灯後、時計を傾けたままにしても、点灯は約1.5秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上へあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。
- ※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

電子音の報音に合わせてLEDライトを点滅させる

本機には、LEDライトがついています。
このライトは、アラーム・時報、タイマーのタイムアップ音に連動して点滅させることができます。

■ ON/OFF設定

ON/OFFの切替えは、時刻モードで行ないます。

1. 8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい

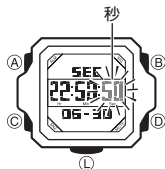
◎ ボタンを押して、時刻モードにします。

2. セット状態にする

◎ ボタンを約2秒間押し続けます

⇒「秒」が点滅します。

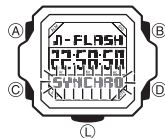
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



3. 「セット状態」を選ぶ

◎ ボタンを10回押します

⇒「FLASH」が点灯し、「SYNCHRO」(設定: ON) または「OFF」が点滅します。



4. ON/OFFを切り替える

◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに「SYNCHRO」と「OFF」が切り替わります。

5. セットを終わる

◎ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

表示のコントラスト調整について

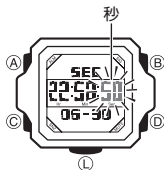
本機は、表示のコントラストを調整することができます。

1. 8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、時刻モードにします。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

- ⇒「秒」が点滅します。
※ セット状態で2~3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



3. セット状態を選ぶ

◎ ボタンを12回押しします

- ⇒「CONT」が点灯し、「現在の設定値」が点滅します。
※ 工場出荷時は「4」になっています。



4. 設定値を選ぶ

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

- ⇒ Ⓓ または Ⓑ ボタンを押すごとに、「1(淡)」~「7(濃)」が切り替わります。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

- ⇒ 点滅が止まり、セット完了です。
※ 「ご使用になる場所の周囲の明るさ」など、環境や条件によっては、調整を行なっても表示のコントラストに変化が見られない場合があります。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■時刻・カレンダーの合わせ方 (ホームタイムの設定)

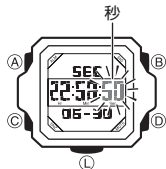
1. セット状態にする

時刻モードのとき

(A) ボタンを約2秒間押し続けます

⇒「秒」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

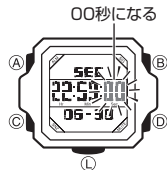


2. 秒合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて**(D) ボタン**を押します

⇒「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。



3. サマータイム (DST) のON / OFFを選ぶ

(C) ボタンを押してから、**(D) ボタン**を押します

⇒**(D) ボタン**を押すことにON / OFFが切り替わります。



※ OFF = サマータイムOFF (通常時間)

ON = サマータイムON (夏時間)

* サマータイム (DST) については19ページ参照。

4. ホームタイム都市を選ぶ

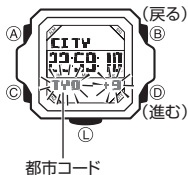
◎ ボタンを押してから、
◎ または ◎ ボタンを押
します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに都
市コードが進み、◎ ボタ
ンを押すごとに戻ります。

* 20ページ「都市コード一覧」
参照。

※ ◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ ホームタイム都市を設定してから、時刻セットを行
なってください。



5. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. ◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに点
滅箇所が右記の順で移動
します。セットしたい箇所
を点滅させます。



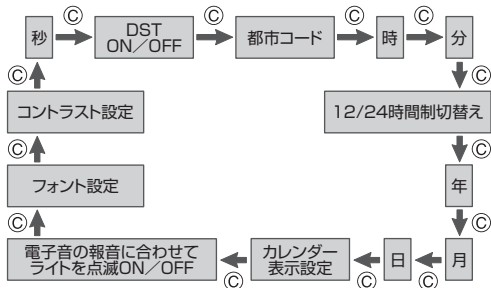
b. ◎ または ◎ ボタンを押
します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに
1つずつ進み、◎ ボタンを
押すごとに戻ります。

※ ◎・◎ ボタンとも、押し
続けると早送りします。

※ 「時」のセットのとき午前/午後 (P)、または 24 時
間制にご注意ください。

※ 12/24時間制切替は、◎ ボタンを押すごとに 12H
(12時間制) と 24H (24時間制) が切り替わります。



※「年」は2000年～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

※ カレンダー表示設定は次のように切り替わります。

例 2009年6月30日火曜日

MMM. DD (例 JUN. 30)

DD. MMM (例 30. JUN)

MM-DD (例 06-30)

DD-MM (例 30-06)

DDD DD (例 TUE 30)

DD DDD (例 30 TUE)

※ フォント設定は次のように切り替わります。

TYPE-A : 太字

TYPE-B : 細字

※ 以下の項目については、それぞれの操作説明のページをご覧ください。

- ・電子音の報音に合わせてライトを点滅 … 12 ページ
- ・コントラスト設定 ……………… 13 ページ

6. セットを終わる

A ボタンを押します

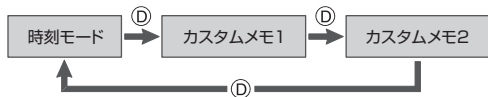
⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

手順a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

カスタムメモ機能の使い方

カスタムメモ機能は、14文字までのメモを2件入力できます。

時刻モードで、**ⓓ** ボタンを押すごとに、以下の順でカスタムメモが表示されます。



・表示できる文字は以下の通りです。

0-9 A-Z - () @ : ; . ! ? / \ ^ #

※8文字以上の場合、モード切替えしたときと、**ⓑ** ボタンを押したとき、右から左へ流れて表示されます。

■ メモを入力する

1. カスタムメモを選ぶ

時刻モードのとき

ⓓ ボタンを押して、カスタムメモ1かカスタムメモ2を表示させます

カスタムメモ1



2. セット状態にする

ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

→ 1行目が点滅します。

※セット状態で2~3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

1行目



3. メモの入力

⑧ または ⑩ ボタンを押します

→ ⑩ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が1つずつ進み、⑧ ボタンを押すごとに戻ります。

※ ⑧・⑩ ボタンとも、押し続けると早送りします。



5. メモの入力が終わるまで、手順3と4を繰り返す

6. セットを終わる

⑨ ボタンを押して、点滅を止めます

4. 「セット状態」を選ぶ

入力したい文字が表示されたら ⑨ ボタンを押します

→ ⑨ ボタンを押すと点滅箇所が右に1つ移動します。

※ 全部消したいときは、⑧ ボタンと ⑩ ボタンを同時に押ししてください。

※ 入力箇所は14文字目まで移動すると、1文字目に戻ります。



ワールドタイムの使い方

ワールドタイムモードでは、世界31タイムゾーン（31都市）の時刻を知ることができます。

※ワールドタイムには、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

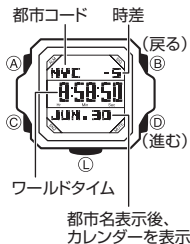
■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

①または②ボタンを押します

→①ボタンを押すごとに「都市コード」が1つずつ進み、②ボタンを押すごとに戻ります。

※①・②ボタンとも、押し続けると早送りします。



8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

■サマータイム (DST) について

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムの設定

1. ワールドタイムモードのとき、④または③ボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

2. ①ボタンを約2秒間押し続けます

→DSTマークが点灯して、サマータイム設定*になります。

* サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。

※ DSTマークが点灯しているときに、①ボタンを約2秒間押し続けると通常の時刻に戻ります。

※ 各都市ごとにサマータイムの設定ができます。ただし、「UTC」表示のときはサマータイムの設定はできません。



■ 都市コード一覧

| コード | 時差 | 都市名 | コード | 時差 | 都市名 |
|-----|-------|---------|-----|------|-------------|
| UTC | 0 | 〈協定世界時〉 | ADL | +9.5 | アデレード |
| LON | 0 | ロンドン | SYD | +10 | シドニー |
| PAR | +1 | パリ | NOU | +11 | ヌーメア |
| CAI | +2 | カイロ | WLG | +12 | ウェリントン |
| JED | +3 | ジェッダ | PPG | -11 | パゴパゴ |
| THR | +3.5 | テヘラン | HNL | -10 | ホノルル |
| DXB | +4 | ドバイ | ANC | -9 | アンカレジ |
| KBL | +4.5 | カブール | LAX | -8 | ロサンゼルス |
| KHI | +5 | カラチ | DEN | -7 | デンバー |
| DEL | +5.5 | デリー | CHI | -6 | シカゴ |
| KTM | +5.75 | カトマンズ | NYC | -5 | ニューヨーク |
| DAC | +6 | ダッカ | SCL | -4 | サンティアゴ |
| RGN | +6.5 | ヤンゴン | YYT | -3.5 | セントジョンズ |
| BKK | +7 | バンコク | RIO | -3 | リオデジャネイロ |
| HKG | +8 | 香港 | FEN | -2 | フェルナンドデノロニャ |
| TYO | +9 | 東京 | RAI | -1 | プライア |

※この表は2008年3月現在作成のものであります。

※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものであります。

※各国の時差およびサマータイムは国の都合により変更されることがあります。

タイマーの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマー時間は秒単位で24時間までセットすることができ、1秒単位で減算計測を行ないます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の3種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

| タイマー方法 | 表示 (23ページ) | タイムアップすると |
|---|---------------|---|
| リピートタイマー (繰り返し計測) | CD-STOP | タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。 |
| カウントダウン/ カウントアップタイマー (計測後、経過時間測定) | CD-UP | 報音を行ない、そこからの経過時間の計測をスタートします。(1秒単位、24時間まで) |
| オートリピートタイマー (自動繰り返し計測) | CD-RPT | タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。 |

■ タイマーの時間について

本機のタイマーの時間には、「プリセット時間」と「カスタム時間」があります。

プリセット時間：あらかじめ設定された次の8種類の時間から選びます。
(この時間は変えられません)
1分、3分、5分、10分、15分、30分、45分、1時間

カスタム時間：自分で時間をセットします。

■ 電子音の報音について

セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

※電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ タイマーのセット

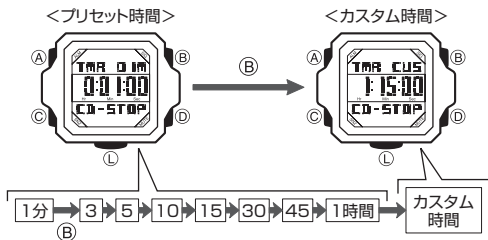
プリセット時間を使うとき：タイマー方法を選びます。
カスタム時間を使うとき：時間とタイマー方法を選びます。

1. プリセット時間、カスタム時間を選ぶ

タイマーモードのとき

② ボタンを押して選びます

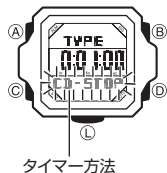
→ ② ボタンを押すごとに、プリセット時間とカスタム時間が次の順番に切り替わります。



2. セット状態にする

③ ボタンを約2秒間押し続けます

→ プリセット時間を選んだときはタイマー方法が点滅します。
手順3の中の「●タイマー方法を選ぶときは…」に進んでください。



→ カスタム時間を選んだときはタイマー時間の「時」が点滅します。
手順3にそのまま進んでください。

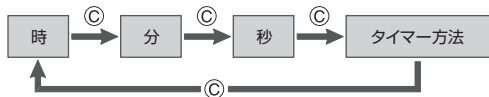
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



3. セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



●「時」「分」「秒」のセットのときは…

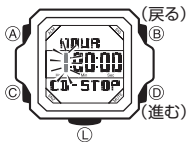
◎ または◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに1つずつ進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。

※ ◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ 1秒単位で24時間までセットできます。

※ タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0:00:00”にします。



●タイマー方法を選ぶときは…

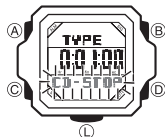
◎ ボタンを押します

⇒◎ ボタンを押すごとに次の3つのタイマー方法が順番に切り替わります。

CD-STOP : リピートタイマー

CD-UP : カウントダウン/カウントアップタイマー

CD-RPT : オートリピートタイマー



4. セットを終わる

◎ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき

1. プリセット時間、カスタム時間を選ぶ

タイマーモードのとき

② ボタンを押して選びます

⇒ ② ボタンを押すごとに、プリセット時間とカスタム時間が次の順番に切り替わります。

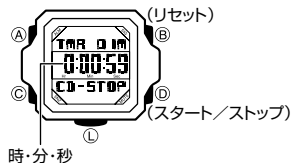


2. 1. で選んだタイマーをスタートする

④ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※ 計測は1秒単位で行ないます。



- ★計測ストップ後 ② ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります (リセット)。
- ★ロスタイムがあるときは、④ ボタンでストップ後、もう一度 ④ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。
- ★「カウントダウン/カウントアップタイマー」のときは、タイムアップすると報音を行ない、そこからの経過時間の計測をスタートします。④ ボタンを押すと計測がストップし、ストップ状態で ② ボタンを押すと計測前の表示に戻ります (リセット)。

ストップウォッチの使い方

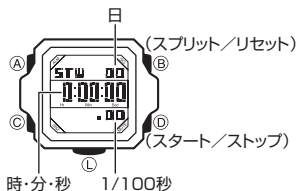
ストップウォッチは1/100秒単位で99日23時間59分59秒99（100日計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ストップウォッチモードのとき

① ボタンを押します

→①ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。



- ★計測中に②ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります（“SPL”表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
- ★計測終了後②ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
②ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

●通常計測



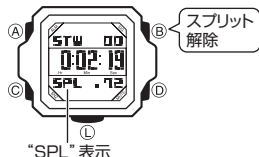
<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに①ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測



<スプリット表示中>



●1・2着同時計測



アラームの使い方

8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、アラームモードにします。

■ アラームについて

● 通常アラーム (ALARM1 ~ ALARM4)

設定した時刻になると10秒間の電子音が鳴ります。
なお、「電子音の報音に合わせてLEDライトを点滅させる」
機能(12ページ参照)をONに設定しているときは、電
子音に合わせてLEDライトが点滅します。

● スヌーズアラーム (SNOOZE)

設定した時刻になると10秒間の電子音が鳴り、5分おき
に合計7回報音を繰り返します。
なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。
また、「電子音の報音に合わせてLEDライトを点滅させる」
機能(12ページ参照)をONに設定しているときは、電
子音に合わせてLEDライトが点滅します。

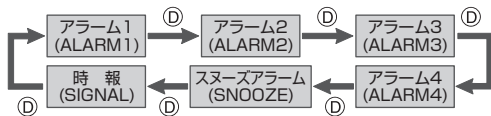
■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに表示が右記の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。



※「時報 (SIGNAL)」については、28ページ参照。

2. セット状態にする

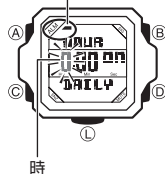
◎ ボタンを約2秒間押し続けます

→ 「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

※ セット状態で2~3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

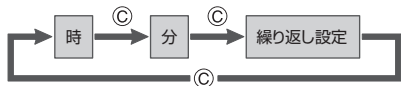
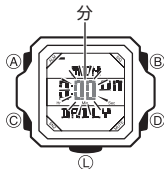
アラームマーク



3. セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所のセット

★ 「時」、「分」をセットするときは…

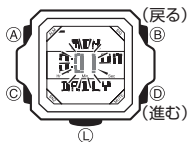
◎ または ◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに1つずつ進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。

※ ◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ 「時」のセットのとき午前／午後(P)、または24時間制にご注意ください。

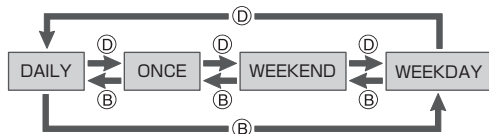
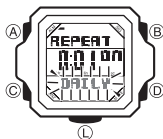
※ 基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。



★ 「繰り返し設定」をセットするときは…

◎ または ◎ ボタンを押します

→ ◎ または ◎ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたい繰り返し設定を選びます。



DAILY：毎日、設定した時間にアラームを鳴らす
ONCE：1度だけ、設定した時間にアラームを鳴らす
WEEKEND：週末(土曜日と日曜日)だけ、設定した時間にアラームを鳴らす
WEEKDAY：平日(月曜日～金曜日)だけ、設定した時間にアラームを鳴らす

手順3～4の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

5. セットを終わる

◎ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

■ アラームの ON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、**⑩** ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

⑩ ボタンを押します

→ **⑩** ボタンを押すごとに、アラームのon(ON) / --(OFF) が切り替わります。

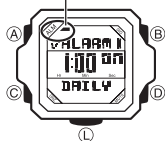
※on (ON) を選ぶと、アラームが鳴るように設定され、アラームマークが点灯します。

また、スヌーズアラームをONに設定した場合は、スヌーズマークも点灯します。

なお、各アラームマークは、該当のアラームが解除される（アラームが鳴る / OFFに設定する）まで、他のモードに切り替えても点灯したままになり、アラームが鳴る設定になっていることを教えてくれます。

<アラーム1表示>

アラームマーク



<スヌーズアラーム表示>

アラームマーク



スヌーズマーク

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラームのときは、約5分後に再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。

※スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作を行なわずと、スヌーズアラーム機能が中断されます。

- 時刻モードでセット状態にしたとき。
- アラームモードでセット状態にしたとき。

■ 電子音を試聴する

アラームモードで **⑩** ボタンを押し続けると、押し続けている間、電子音が鳴ります。

■ 時報について

毎正時（00分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

また、時報を鳴らす時間帯を設定したり、鳴らす日を「毎日 / 週末（土曜日と日曜日） / 平日（月曜日～金曜日）」から選ぶこともできます。

■ 時報を鳴らす「時間帯」と「日（毎日／週末／平日）」の設定

準備：アラームモードのとき、**ⓐ** ボタンを押して、時報表示 (SIGNAL) を選びます。

※ 時報の時間は 24 時間制で表示されます。

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

⇒ 「時報の開始時刻 (時)」が点滅します。

※ 時報マークが点灯して、自動的に時報 ON になります。

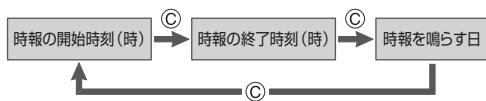
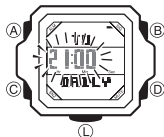
※ セット状態で 2~3 分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. セット箇所を選ぶ

ⓒ ボタンを押します

⇒ **ⓒ** ボタンを押すごとに点滅箇所が右記の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所のセット

★ 時報を鳴らす時間帯（「時報の開始時刻 (時)」と「時報の終了時刻 (時)」）をセットするときは…

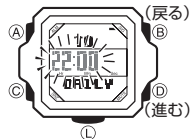
ⓓ または **Ⓑ** ボタンを押します

⇒ **ⓓ** ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、**Ⓑ** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **ⓓ**・**Ⓑ** ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ 設定した時間帯が 24 時間に相当するときは、セットが終わると時間帯を表示する箇所に「ALL」と表示します。

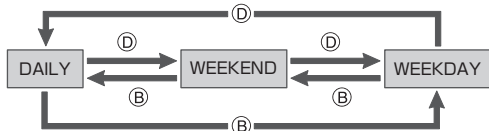
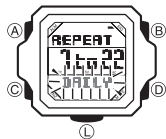
※ 1 回だけの報知（開始時刻と終了時刻が同じ）の場合は、セットが終わると時間帯を表示する箇所に開始時刻のみを表示します。（例 8 : 00）



★「時報を鳴らす日」をセットするときは…

①または② ボタンを押します

→ ①または② ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたい「時報を鳴らす日」を選びます。



DAILY：毎日、設定した時間帯に時報を鳴らす

WEEKEND：週末（土曜日と日曜日）だけ、設定した時間帯に時報を鳴らす

WEEKDAY：平日（月曜日～金曜日）だけ、設定した時間帯に時報を鳴らす

4. セットを終わる

③ ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

■ 時報の ON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、④ ボタンを押して、時報表示 (SIGNAL) を選びます。

④ ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとに、時報の ON (✓SIGNAL (チェックマーク点灯)) と OFF (SIGNAL (チェックマーク消灯)) が切り替わります。

※時報の ON (✓SIGNAL) を選ぶと、時報が鳴るように設定され、時報マークが点灯します。なお、時報マークは、OFFに設定するまで、他のモードに切り替えても点灯したままになり、時報が鳴る設定になっていることを教えてください。

<時報表示>

時報マーク



製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精度：平均月差± 15 秒以内

基本機能：時・分・秒、
午前／午後（P）／24 時間制表示、
年・月・日・曜日、
フルオートカレンダー（2000～
2099 年）

カスタムメモ機能：14 文字× 2 本

ワールドタイム機能：世界 31 タイムゾーン（31 都市）の時
刻を表示、サマータイム設定機能

タイマー機能：セット単位 = 1 秒
計測単位 = 1 秒
計測範囲 = 24 時間
リピートタイマー／カウントダウン／
カウントアップタイマー／
オートリピートタイマー切替え

ストップウォッチ機能：計測単位 = 1/100 秒
計測範囲 = 99 日 23 時間 59 分 59 秒
99（100 日計）
計測機能 = 通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2 着同時計測

アラーム機能：時刻アラーム セット単位 = 時・分
電子音 = 10 秒間
通常アラーム = 4 本
スヌーズアラーム = 1 本
繰り返し設定
時報 毎正時に電子音で報時、
報時時間帯／日設定

その他：自動復帰機能、サマータイム設定機能、
12/24 時間制表示切替え、
モニターアラーム、
ELバックライト、オートライト、
電子音の報音に合わせてライト点滅、
操作音 ON/OFF 切替え、コントラスト
設定、カレンダー表示設定、
フォント設定

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
CMOS-LSI

使用電池：CR2025（電池別途販売）

持続時間：約 5 年
（電子音 10 秒間／日、ライト 1.5 秒
間／日）













ご使用上の注意

■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

| 表示 | 時計の表面または裏蓋に表記 | 日常生活用 | 日常生活用強化防水 | | |
|-----|-----------------|-----------|-----------|--------|--------|
| | | 防水 | 5気圧防水 | 10気圧防水 | 20気圧防水 |
| | | 「BAR」表記無し | 5BAR | 10BAR | 20BAR |
| 使用例 | 洗顔、雨 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 水仕事、水泳 | × | ○ | ○ | ○ |
| | ウインドサーフィン | × | × | ○ | ○ |
| | スキューバダイビング(素潜り) | × | × | ○ | ○ |

※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水試験を行ないますので、必ずお買い上げ店あるいは最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態での水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があります。時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご来店ください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

■ ショック

- 通常の使用状態でショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当たったり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとし色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。

ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

■データ保護について

- 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご来店ください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
※ 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行いません（防水検査は別途有償となります）。

■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。